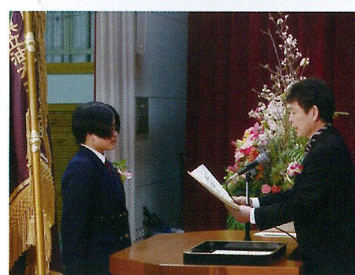


神石高原町連携型中高一貫教育ジャーナル 高原の風

令和6年度卒業式挙行

第42号

2025.4.15



3月4日（火）、令和6年度卒業証書授与式が挙行されました。この日、産業ビジネス科19名、普通科33名の52名が油木高校から旅立ちました。3年間の学びを活かして、それぞれの進路において活躍されることを祈念いたします。卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます！



神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会

◆次世代議会 12/26 普通科の2年生2組と議長、事務局長の合わせて6人が参加しました。



◆音楽選択者器楽実習発表会 1/29 3年生最後の芸術（音楽選択者）にて発表会が行われました。



◆レシテーション・スピーチコンテスト 2/19 英語の暗唱、弁論大会が行われました。

1年生によるレシテーションコンテスト



2年生普通科によるスピーチコンテスト



◆1・2学年合同学習成果交流会 2/12 1年生、2年生が相互に総探での活動を発表しあいました。



◆クラスマッチ 3/18 バレーボールによる熱戦が繰り広げられました。



◆フラワーアレンジメント教室 3/21 豊松小の児童と一緒に作りました。



◆やまびこコンサート 3/23 やまなみ文化ホールにて3校合同のコンサートが行われました。



小中高連携教育実践紹介

◆合格体験発表会 3/19 高校ならびに両中学で卒業生による体験発表を実施しました。



◆令和6年度（2024年度）卒業生進路先

国公立大学

- 島根大学
- 山口大学
- 琉球大学
- 県立広島大学
- 福山市立大学
- 防衛大学校（R5年度卒生）

私立大学・短期大学

- 大阪体育大学
- 関西外国語大学
- 環太平洋大学②
- 京都産業大学
- 皇學館大学
- 神戸芸術工科大学
- 就実大学
- 創価大学②
- 広島経済大学②
- 広島修道大学
- 広島文教大学
- 福山大学②
- 美作大学
- 安田女子大学
- 岡山短期大学②
- 川崎医療短期大学
- 福山職業能力開発短期大学校

専門学校等

- 朝日医療大学校
- 穴吹ビジネス専門学校③
- 上田安子服飾専門学校
- ヴェールージュ美容専門学校
- 愛媛県立農業大学校
- 大阪ECO動物海洋専門学校
- グラムール美容専門学校
- 高津理容美容専門学校
- バンタンデザイン研究所
- 広島県立農業技術大学校②
- 広島県立三次高等技術専門学校
- 広島市立看護専門学校
- 広島リゾート&スポーツ専門学校
- 放送芸術学院専門学校

就職

- 株式会社エブリイ
- 株式会社キヤステム
- 株式会社西田建装
- 株式会社広星
- 株式会社フレスタ
- 有限会社宮田工務店②
- 広島県職員（警察事務）

◆令和7年度（2025年度）入学実績

	定員	受験者数	合格者数	入学者数	入学率	地元入学者数
産業ビジネス科	40	23	22	22	55.0%	11
普通科	40	25	25	25	62.5%	20
合計	80	48	47	47	58.8%	31

令和6年度

連携型中高一貫教育に係る アンケート調査の結果と考察

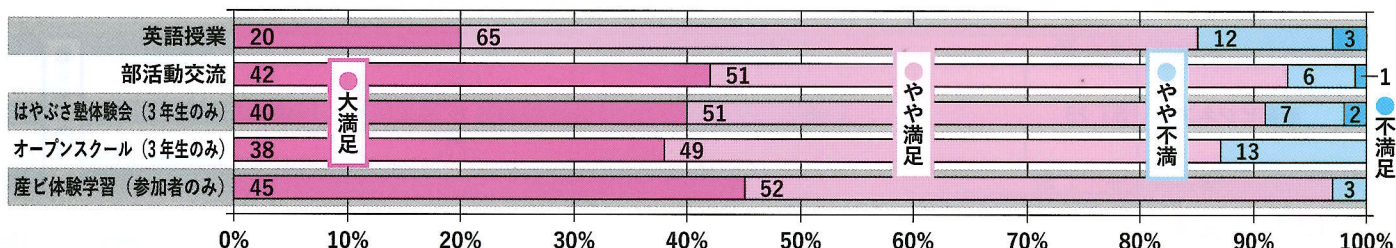
本年度も町内の全中学生（162人）・油木高校生（166人）・中高教職員（59人）・小学校4～6年生保護者（125人）・中学校保護者（144人）・地域（81人）を対象として、見出しのアンケート調査を実施しました。その結果と考察の一部を紹介します。

※詳細については、神石高原町ホームページ（「子育て・教育」→「学校教育」→「神石高原町中高一貫教育について」→「連携型中高一貫教育に係るアンケート調査 結果と考察」（<https://www.jinsekigun.jp/town/formation/kyouiku/kyouiku/gakkou/ikkan/survey/>）をご覧ください。



中学生 編

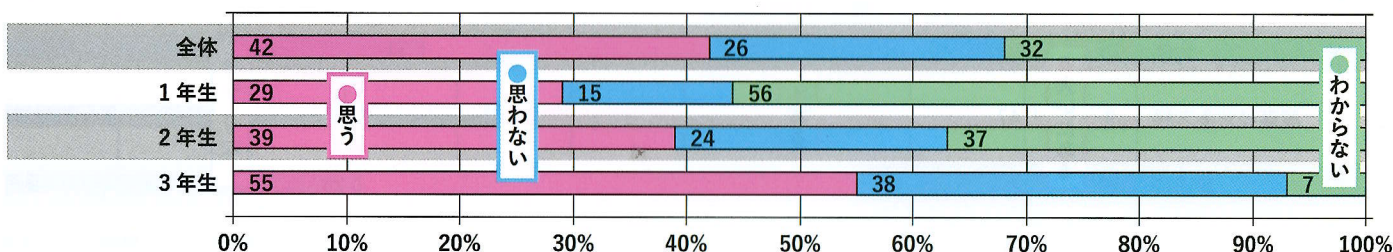
Q. 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、該当する項目について、その感想を教えてください。



考察

全ての項目において、肯定的評価「大満足・やや満足」が大変高い評価であるが、交流授業で実施している英語の「大満足」度は低くなっている。交流授業は連携型中高一貫教育校では欠かせない実践項目であり、今後、町研教科部会等で授業交流・授業研究などしながら有効策を追究していく必要があると思われる。

Q. あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

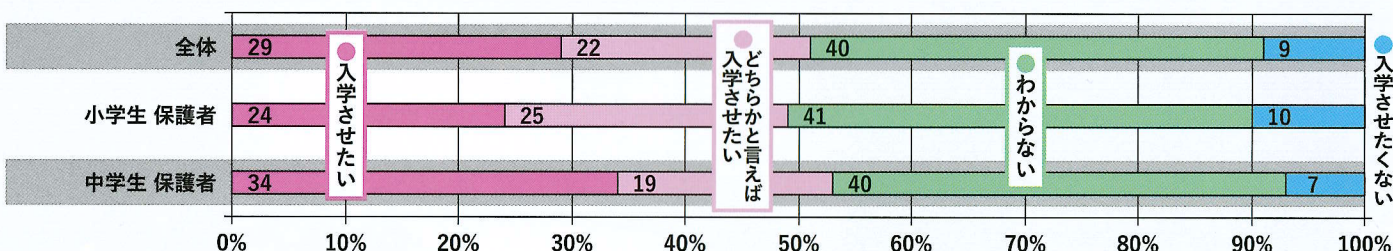


考察

2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は41前年（50%、前々年53%）で減少傾向にある。今後、生徒数が減少していく中で、連携校からの地元率50%以上を確保していく必要がある。全体の学年別でも、3年生の「思う」が55%で（R5年76%、R4年62%、R3年66%、R2年61%、R1年61%）、一つの目標数値である60%以上を維持する必要がある。

小・中保護者 編

Q. あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。

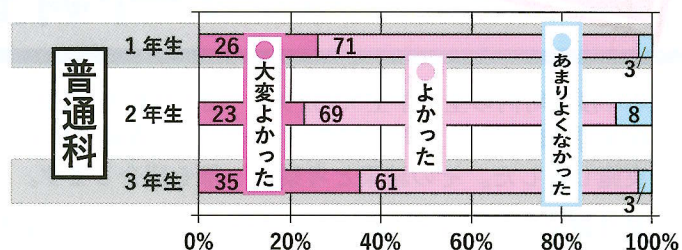
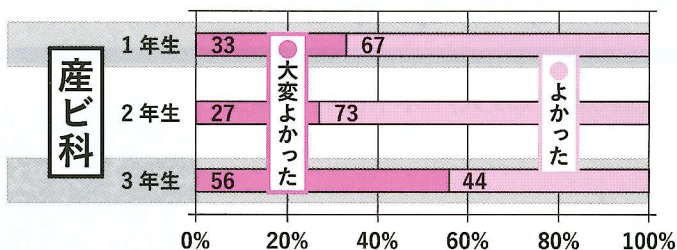


考察

全体としては、「入学させたい」肯定的回答は51%（昨年53%、一昨年52%）、「入学させたくない」は9%（昨年11%、一昨年8%）で横ばいである。小中学校別では、「入学させたい」は中学校が多い。これらは高校進学時期の年齢差からくるものと思われる。今後「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

高校生 編

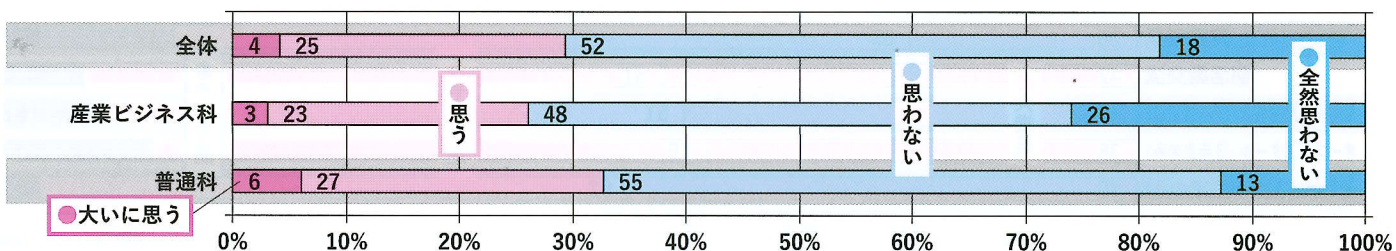
Q. あなたは 油木高校へ進学して、どうでしたか。



考察

昨年度と比較でみると、産ビ科の肯定的回答は（昨年 94%→100%）、普通科は（昨年 86%→95%）という回答であった。一方「よくなかった」とする生徒は、普通科に 5%（4人）であった。

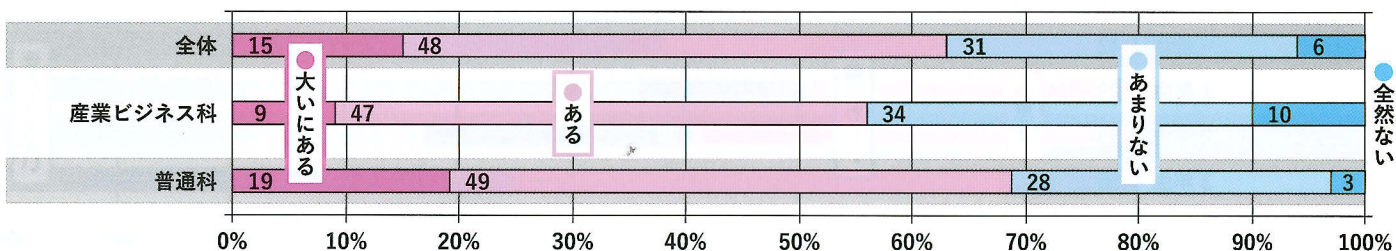
Q. あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。



考察

全体では、「大いに思う」が 4%と 1割に満たない。「思う」は 25%で、肯定的回答は約 3割である。一方、「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答は約 7割を占めている。学科別においては、「大いに思う・思う」が、産ビ科生が低く、「思わない」高い傾向にある。産ビ科生の約 6割が町外生であることが影響していると考えられる。

Q. あなたは、地元に貢献したいという気持ちがありますか。



考察

全体では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が 15%（昨年 20%）で、「ある」を含めた肯定的回答は 63%（昨年 63%）で昨年度と同じ傾向である。学科別では、地域貢献意欲が「ある・なし」の割合では、やや普通科の肯定的回答率が高い。

